



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)4月5日号 No.1888

## 目次

■ <b>天然ガスの決済方法に関するロシア大統領令</b> .....	1
■ <b>統計速報</b> .....	5
2022年1～2月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績／5	
2022年1～2月の日ロ貿易／6	
■ <b>トピックス</b> .....	8
双日がウズベキスタンでIPP事業権獲得／8	
西部ガスがノバテクとの共同事業中断／8	
経産省がロシアへの高級車の輸出を禁止／8	
伸和HDがウラジオストク撤退／9	
味の素がロシアで商品販売停止／9	
三菱重工がタシケント向けにガスタービン受注／9	
ロシア事業の43%が停止／9	
ガスプロムのドイツ子会社が完全撤退／10	
経産相がサハリン1、2撤退しない方針明示／10	
ラウンドワンがロシア事業を撤退／10	
ロシアのビザ発給制限に日本該当せず／11	

## 天然ガスの決済方法に関するロシア大統領令

### はじめに

3月31日、ロシアからの天然ガスの輸出に関連した決済方法の変更に関するロシア大統領令が公布された。その内容を要約すると、①2022年4月1日以降、「非友好国」へ気体状天然ガス(パイプラインによって運ばれる天然ガス)が輸出される場合、その代金の支払いはルーブルによって行われる、②本決済を実施するための公認銀行を「ガスプロムバンク」とし、同行に天然ガスの代金決済用の特別ルーブル口座と特別外貨口座を開設する、③外国の買い手は特別外貨口座へ外貨通貨で送金し、「ガスプロムバンク」はその外貨を市中(モスクワ証券取引所MMVB-RTS)でルーブルに換金し、このルーブルを特別ルーブル口座に振り替え、さらにこれをロシアの供給者(ガスプロム)がガスプロムバンクに開設したルーブル口座に送金する、ということとなる。

この大統領令のポイントは、①本大統領令は「非友好国への気体状天然ガスの輸出」、すなわち主としてEU(その他、スイス等)向けのパイプラインガスが適用対象となる、②ルーブルでの代金支払いを謳ってはいるが、買い手(EU側)は実際にはユーロ等の外貨での送金が可能になるという点である。これによって、EUにおいて調達困難なルーブルでの送金という方法が回避され、ひとまずロシア